

先生達の言葉も紹介します。

「子どもも教師も安心・安全で、みんなが学びにのめり込める学校」、「子どもも教師も幸せで続けられる学校」、「お互いを大切にできる学校」、「あたたかい思いやりとワクワクする挑戦を大切にできる学校」、「自分の居場所がある学校 子どもも教師も成長できる学校」などが出されました。先生達は、みなさんと同じ立場で考えているんだなあと思いました。

それでは、元に戻るよ。「みんなはどんな学校にしていきたいですか？」

この2ヶ月半の間に、何人も校長室に相談に来てくれている人たちがいます。いろんな学年です。そして校長先生に「こんなことをクラスでやってもいいですか？」「こんなものを学校に持ってきてはダメですか？」って聞くんです。校長先生はそういう時に「うん、そうだね。こうしてね」って言わないんです。「みんなは、どう思っているの？」って聞きます。そして「クラスで話し合ったの？」「担任の先生の考えは聞いたの？」と聞いています。

ぜひ、みなさんのよいところ「自分たちで考えることができる」ところを発揮してもらって、自分たちで考えてもらえると嬉しいです。

6月25日には、児童会で聴き合い集会をやりたいというお知らせをもらいました。その時のテーマが「私たちの学校の生活で大切にしていきたいこと」だそうです。「大切にしていきたいこと」今までのお話を聞いてきて、どう感じますか？みなさんはどんな附属長野小学校にしていきたいですか？今のままで満足という人はどのくらいいるかな？(挙手少数)。もうちょっと、なんとかできるかなという人はどのくらいいますか？(挙手多数) すごいいるね。これが、校長先生とみんなで意見があったところだね。まだまだ、みんなは伸びると思います。そして、この学校も、もっと素敵になります。



「共に在る」。もう一、二年生は覚えたかな？難しい言葉だけれど、この学校目標に向かってみんなで頑張っていけたらいいなと思います。今日も最後まで静かに聞いてくれたね。ありがとう。

(六年生から拍手)

(6月16日 校長講話より)

子どもたちとの日々から（児童集会）

6月は「聴き合いの会」、「通学を考える会」と、全校児童が体育館に集い、子ども達の主催による全校集会がありました。聴き合いの会では、「みんなが楽しい学校って、どんな学校だろう？」というテーマで意見交換をしました。全校の子ども達からは以下のような意見が出されました。

- ・ マナーやルールを守る。・ 思いやりを大事にする。・ 廊下歩行で走らない。
- ・ けんかをしない。・ 生き物を大切にすること。・ 悪口を言わない。
- ・ 仲間を思うこと、チャレンジすることを大事にする。・ 自分も相手も思いやる。
- ・ 支え合いを大切にすること。・ けがをしないで生活したい。・ あいさつをしっかりしたい。
- ・ いじめをなくしたい。・ 言葉づかいに気をつける。・ 人の話をしっかり聴きたい。

校長講話での校長先生からの話を聞いた、子ども達からのアンサーでもあります。自分の考えを出し合いながら、「どんな附属長野小学校にしていきたいのか」を考え合いました。子ども達の意見は、本年度の始業式で校長先生が話をした「失敗を恐れずにチャレンジをする」「友達を大切にすること」「事故や怪我に気をつける」に通じるものであるように思います。この3ヶ月、子ども達なりに受け止めて、生活してきたのだと感じました。

本校では、今後も、今回のように職員と児童がみんなで意見を出し合う場を大事にして、共につくる学校を目指していきたいと思っています。そのことが、子ども達の将来の社会参画、自主・自立・自治の力につながるものと考えています。

